

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<p>家事の手伝いをする体験が不足しているため、家庭に協力してもらい、宿題という形を取り体験する機会を増やして、生徒の意識と技能の向上に努めた</p>	<p>知識に偏りがちになりやすいが、知識だけでなく技術を向上させるには、今以上に体験させる必要がある。また、技能の個人差が大きい。</p>

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	<p>全体的に、素直で明るく子供らしいのだが、幼さが抜けない。板書されたものを写す作業が不十分な生徒や、記入したことで満足し、訂正をしない生徒もいる。ミシンの技能はまだ未熟</p>	<p>プリントの記入状態を毎回評価し、意識を高める。ミシンの技能向上については、補習を通して個別指導をする。</p>
2年生	<p>1年次よりも落ち着いて授業に取り組むようになった。調理実習にあたり、安全に行動させると共に、技能が向上するように指導する。</p>	<p>調理実習の班は生活班を使い、お互いに協力することの大切さや楽しさを体験させる。技能は、調理実習だけでなく、宿題を通して家庭での調理に関わる機会を増やし、向上に努める。</p>
3年生	<p>全体的に、落ち着いて授業に取り組んでいる。作品作りにも積極的に取り組んでいるが、技能に差がある。</p>	<p>作品作りを通しての技能の向上については、補習を通して個別指導をする。保育を通して、保護者を始め周囲の人々の支えがあって、今があることを確認する機会を多くとり、心穏やかに授業に取り組めるようにする。</p>

●学校全体で取り組む内容

<p>人権教育を意識した授業を行う。授業内容について行けなかつたり技能的に未熟な生徒をからかうことなく、発言を尊重し、他の人の意見や努力を認め合えるよう指導する。</p>
